



NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 海事振興部船員労政課

(担当) 土本、濱下

(電話) 06-6949-6435

令和7年2月13日

内航船員の確保・育成対策 生駒市立生駒北小中学校にて出前講座を実施しました！

内航海運は、日本経済を支える重要な産業です。これを支える船員は、業界全体として若年層が増加傾向にあるものの高齢化は著しく、将来における担い手不足が生じないように十分な数の船員の確保が必要とされております。

これを受け、国土交通省では、内航船員の確保育成施策を推進しており、近畿運輸局においては、近畿内航船員対策協議会と連携して、若年船員の確保に向けて各種事業を実施しています。

今般、“生駒市立生駒北小中学校”において、出前講座を実施しましたので、お知らせいたします。

実施日： 令和7年2月3日（月）

対象者： 生駒市立生駒北小中学校（中学1年生 30名）

講師： 株式会社辰巳商会 上田 雄士 氏

近畿内航船員対策協議会 磯合 信之 氏

講義内容： 海運の重要性と船員の仕事について

配布パンフレット等： 「船の仕事ってなに？」（日本内航海運組合総連合会）

「What is 内航海運？」（日本内航海運組合総連合会）



「C to Sea プロジェクト」
海と船がもっと楽しく身近になる情報発信中！！

海と船のポータルサイト「海ココ」開設 →



配布先：海運関係業界プレス

生駒市立生駒北小中学校の中学1年生に出前講座を実施しました！

近畿運輸局及び近畿内航船員対策協議会（会長：山本一人 三興海運(株)代表取締役会長）では、内航の若年船員不足に対する施策の一つとして、海運の重要性や船員の仕事についてPRし、海の仕事や船に対する子どもたちの興味や関心を高め、船員の仕事を将来の職業の選択肢として捉えてもらうことなどを目的に「出前講座」を実施しています。

今般、令和7年2月3日（月）、生駒市立生駒北小中学校において、「海運の重要性と船員の仕事について」をテーマとした出前講座を実施し、中学1年生30名が参加しました。

当日は、（株）辰巳商会の上田氏と近畿内航船員対策協議会の構成員である三興海運（株）の磯合専務取締役を講師として、日頃、船員に接する機会の少ない生徒に、「海運」がなぜ重要か、「船員」はどのような仕事をしているかについて、パワーポイントや動画を用いて、わかりやすく説明を行いました。



出前講座の前半は、（株）辰巳商会の上田氏が講師を担当し、講座では、生徒にどんどん質問を投げかけていく形式で実施しました。生徒からもたくさんの質問があがっていたので、終始和気あいあいとした雰囲気の中で講座を進めることができました。

上田氏は大学を卒業して企業に就職し、その後転職して船員をめざした経験があることから、サラリーマンから船員になろうと思ったきっかけや、船員になって良かったこと等、生徒自身が将来職業を選択する際に気になる実体験の話をしました。また、上田氏の趣味である海外旅行に触れ、社会人になると学生のような長期休暇がないけれども、船員であれば3ヶ月乗船後1ヶ月休暇という勤務体制なので、長期休暇を取ることができるのもメリットであること、乗船中はお金を使うことがほとんどないのでお金が貯まることもメリットであることを伝えました。

さらに、普段食べているパンの材料である小麦のほとんどが、船で運ばれてきていることを伝え、海に囲まれた日本にとって、原材料や製品の輸出入を一度に大量に行うことができる船は、大変重要な輸送手段であることを伝え、生徒たちは熱心に上田氏の話に耳を傾けていました。

出前講座の中盤は、動画「暮らしを支える日本の海運」（（一社）日本船主協会）を視聴することで、海上輸送の重要性や安全性、環境にやさしい輸送手段であることを理解していただきました。





出前講座の後半は、近畿内航船員対策協議会の構成員である三興海運（株）の磯合専務取締役が講師を担当し、「船・船乗りのイメージ」として、「日本を支える職業である」というイメージが持たれていないが、日本にとって船は重要な輸送手段であり、不況に強いことを伝えました。

また、船の仕事は、船長、航海士、機関士及び司厨員に分かれていることを、有名な海の冒険漫画のキャラクターを例に分かりやすく説明を行いました。

さらに、勤務体制が、3ヶ月乗船後1ヶ月休暇が基本ではあるものの、2ヶ月乗船後20日休暇、1ヶ月乗船後10日休暇の制度がある会社もあること、タグボートの会社であれば日帰り勤務も可能であることを伝えました。

最後に、「船員になりたいと思った場合には、船員になるための学校がある。目標を早いうちに持つとそれに向けて早くから勉強に取り組んでいけるので頑張してほしい。」とメッセージを送りました。

近畿運輸局及び近畿内航船員対策協議会では、出前講座が生徒の職業観の形成につながることを期待するとともに、将来の職業選択にあたり「船員」の仕事が選択肢の一つとなるよう、「海運の重要性」や「船員の仕事」についてのPR活動を引き続き積極的に行いたいと考えています。

(近畿運輸局 海事振興部 船員労政課)